

<久しぶりの大雪…「不易」の思い>

校長 佐藤 幹彦



12月24日(土)は、26日(月)との振り替えで、校区の小中学校一斉に2期の最終授業日でした。昨日の天気予報で降雪予報が出ていましたが、いつものように少し雪が積もるかな?という程度で思っていました。しかし、念のために朝早く起きて窓の外を見たときにその景色にびっくりです。まさか20cmも雪が積もるとは予想していませんでした。



そのため、子どもたちが登校してくる前に、少しでも学校周りの雪かきをしなければ…と思って慌てて準備をして、7時過ぎごろには学校へ到着しましたが…私の杞憂でした。すでに何人もの先生方が、長靴や雨合羽など着て一生懸命雪かきをしていてくれたのです。中には5:30頃に出勤した先生もいたようです。



本校の勤務時間は8:15~16:45ですので、このような勤務は当然「自主的・自発的な働き」によるものです。私たちが若い頃は、管理職から「早く来ること」をしっかり指導されてきましたので、今でもその「働き方」が身に付いていますが、今では「ブラックな勤務」とか「働き方改革」のこともありますし、先生方にもご家庭・ご家族があって、ご都合や用事があるのは当然ですので、お願いすることも難しいと思っています。

そんな中での先生方の働きについては、手前味噌で恐縮ですが、本当に頼もしい限りです。以前も書きましたが、大規模校ならではの人数の多さはもちろんのこと、ベテランから若手までがお互いに声をかけ合いながら協力して前向きに作業をする姿は、見ていて本当に気持ちがいいです。今日の全校放送でも、先生方が「子どもたちのために」という思いで朝早くから頑張っていることを生徒たちに紹介しましたが、子どもたちが少しでも「不易」の先生方の思いを感じてくれることを願っています。

今日で、「118日間 登校日数79日」の2期が終了しました。子どもたちには、冬休みを「後期中休み」として、ここまでの自分の【自律】【尊重】【創造】の姿をしっかり振り返って、3期につなげてほしいという話をしました。



生徒の作品

また、冬休みへの願いとして、①自分の「生命」「生活」を守ること、②2期までに身に付けた力…特に「自律力」を、お手伝いや起床・就寝時間などで意識すること、③3期を見据えて…「学習面」を伸ばすこと、特に3年生は粘り強く「努力」をしてほしいことを話しました。

最後に、2期に各学年でいろいろなトラブルが発生した「仲間関係の在り方」について、【尊重】＝「多様性を受け入れて、他者を思いやり尊重すること」「みんなちがって、みんないい（金子みすゞ）と感ずること」ができているか、自分自身振り返ってほしいという話をしました。そして、3期の始業日である1月10日（火）には、新たな気持ちで「元気に 笑顔で」登校する姿を願っています。



生徒の作品

「SDGs 学校賞」をいただいた蘇原中学校ですので、子どもたちみんなが、一つしかない蘇原中学校で、安心安全に生活し続けられる「持続可能な中学校」を実現するために、きっと頑張っていてくれると信じています。保護者や地域の皆様におかれましては、今年1年間、本校の教育活動に何かとご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。来たる2023年も、どうぞよろしく願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。